

地域ネットワークニュース

電話0299(93)0294

e-mail mail@kamisushakyo.com

http://www.kamisushakyo.com

第125回勉強会

「社会福祉先進国 デンマークの文化と福祉事情」

エグモントホイスコーレン補助教員 小原広基氏

日本には「福祉教育」という言葉があります。しかしデンマークにはありません。なぜなら、デンマークでは様々な違いを受け入れる社会こそが正常であるというノーマライゼーションの考え方が当たり前となっています。教育現場でも、一人ひとりの個性や違いを認めた教育のあり方を大切にしています。

今回の講師である小原氏は、デンマークへ滞在中に様々な人々とふれあいながら、現地の福祉について学んできた中で、教育、医療、福祉、年金などあらゆる面で日本との違いを痛切に感じたようです。一番の違いは、子供の頃からそれぞれが自分の意見を持ち、それを表現すること、また、人の意見を尊重することを教育を通じて学んでいることにあり、一つの問題に対してとことん話す習慣があること、と小原氏はいいます。

世界最高水準を誇る高福祉の選択をしたのも国民で、その財源となる高い税金（消費税25%、所得税50%）を納めることについても「サービスを受けるためには負担は当たり前」という自覚が浸透しているようです。

今回の勉強会では、小原氏が実際に見て、感じてきた社会福祉先進国のすばらしさと日本との風習、習慣の違い、そこから見える福祉事情を伝えていただきます。

日本では「当たり前」と考えもしなかった日常生活での考え方の違いを確認しながら、自分を見つめ直すいい機会です。ふるってご参加ください。

デンマーク豆知識

首都はコペンハーゲン。人口約543万人。面積は九州とほぼ同じ。
国民の主観的な幸福度ランキング第一位(2007年/イギリス・レスター大学調べ)
アンデルセン童話発祥の地。玩具で有名な「レゴ・ブロック」もデンマーク製。



平成20年3月11日(火)午後7時より 神栖市保健・福社会館 2階 研修室

第124回
勉強会報告
参加者23名

「日常生活自立支援事業の取組とその活用について」

神栖市社協（茨城県鹿行地域基幹的社協専門員）名雪義一

鹿行地区の基幹的社協として、これまでに関わってきたケースのほぼ全てがケアマネージャーやホームヘルパー、包括支援センターなどクライアントの身近な支援者による相談が入り口となって利用されていること。

悪質な訪問販売の詐欺にあっけたり、通帳・印鑑などの重要書類の紛失など、日常生活における不安要因が増え始めた時、身近な誰かがこの事業の必要性を感じてくれることが安心できる地域での暮らしにつながるということ。

さらには、この事業が利用者の全ての権利を守れるような万能なサービスではないが、利用者に関わる様々な関係機関や支援者がそれぞれの特徴と役割を認識し合い、共有していくために、何度もケースカンファレンスを開催し、チームとしてクライアントに関わることで「今、ここで必要な支援・サービス」につなげることができる「転ばぬ先の杖」としての日常生活自立支援事業の重要性、必要性を正しく認識できる機会となりました。

